



令和7年度の学校運営協議会がスタート！

新しい委員の方を6名お迎えして、今年度の第1回学校運営協議会が8月19日(火)に本校にて開催しました。佐古校長より学校経営方針の概略についての説明があり、伏見校・分校における現状と課題、家庭や地域との連携等について情報共有しました。また、音楽発表による子どもたちの頑張りが全国放送で放映されることを紹介し、今後の地域との連携、地域への情報発信の大切さについて説明がありました。

また、今年度、教職員による「本校の現状と課題に関するアンケート調査(学校アセスメント)」が行われ、その中の「地域と連携・協働した取組」の意見等について情報提供しました。委員の皆様からは、両校の状況や学習活動について御理解をいただくとともに、将来を見据えて、両校の子どもたちが目指す姿や新たな取組を始めるにあたっての情報提供など、貴重なご意見をいただきました。

今年度も引き続き、合同開催を1回目と4回目に設定し、各学校毎の熟議を2回目、3回目に設定しています。各校の地域の現状を再確認するところから始めて、地域の活動にはどんな取組があるのか、一緒に取り組める活動はないか、本校の魅力をどのように地域に発信するべきかなど意見交換を行いながら、学校と地域をつなぐことができると良いと考えています。ここでの意見を多くの方に伝えられるよう、「ふしみ☆CS通信」を発行していきますので、どうぞよろしくお願いします。

(本校 総務部 小椋)

熟議テーマ 「本校の魅力を地域に発信し、地域とともにある学校づくり」

<委員との意見交流では…>

- 地域とつながった学習活動など、改めて、一からの再構築が必要である。土日祝日の地域のイベントへの参加もある。その際、教職員の勤務の保障という点から、「柔軟な勤務態勢」が求められる。
- 若い世代は、SNSで情報を発信したり、情報を得たりしている。本校の魅力を地域に発信するためには、「見てもらう工夫」が必要である。SNSによる情報発信が有効である。
- 太陽食堂の定休日で、太陽食堂のスペースをもっと使ってもらっても良い。いつでも対応したい。以前、PTA茶話会での生徒の接客活動を行った。保護者を招待し、生徒が接客する場が少しずつ増えると、たくさんの「ありがとう」が生まれ、良い刺激になるのではないか。
- PTAとしても、地域とのつながりという点で、協力できるところは協力していきたい。
- 中央図書館では、美術・図画工作作品の展示を行うことができるので、活用してほしい。

今年度の本校・分校の委員の皆様 <敬称略>

お名前	所属
山下秀樹	北海道文教大学教授
梅澤梓	本校PTA会長
小澤昌人	チャレンジキャンパス施設長
前田憲一	札幌市中央図書館長
永井朋和	山鼻まちづくりセンター所長
大波和幸	札幌市水道記念館長
三浦梨乃	もいわ太陽食堂店主
平間汐梨	分校PTA会長
山田誠	北海道社会福祉事業団もなみ学園長
村井友生	聖静学園副施設長
矢野潤	アフタースクール運営会理事長
牧野邦明	セブンイレブン石山東3丁目店長
山屋忠意	石山東町内会長
佐古勝利	札幌伏見支援学校長

■ 今後のスケジュール(予定)

【第2回目】10月実施

【第3回目】11月実施

【第4回目】2月実施

■ 2回目の熟議のテーマは、「本校の魅力をどのように地域に発信し、どのような地域資源や地域人材とつながり、どのようなことに取り組むか」です。先生方にも参加していただき、具体的な活動について意見交流を行います。

ざっくばらんに話し合うことでいいアイデアが浮かぶかもしれません。